滿洲日報

本紙代價 廣告料
一ヶ月前金 四十錢
一ヶ年全 四圓八十錢
郵稅無料
五號活字一行十九字詰 一回 二十錢
四號活字一行十四字詰 一回 三十錢
二號活字一行九字詰 一回 四十錢
淸國營口中盛街(電話二九番) 滿洲日報社

本報價目 一張 四分 一ヶ月 八角 一ヶ年 九元六角
告白刊例 一行五號十九字 每日 一角 每行二十日以上者 每日 五分 一月以上 每日 ... 價目所議

東發着
金州發 三十里堡着發 普蘭店着發 後 一〇・一六 一一・二六 一二・二七 一・〇三 一・一五 二・一六
八・一六 九・二七 一〇・〇三 一〇・一五 一一・一六
營口着 蓋平發 大石橋着發 海城著發 前 九・一九 九・三一 一〇・三九 一〇・五三 一一・一四 一二・二九
六・一九 六・三一 七・三九 七・五三 七・一四 九・二九
奉天發 石臺着發 新臺子着發 六・四〇 七・四七 七・五七 九・一〇 九・二五
三・四〇 四・四七 四・五七 六・一〇 六・二五
開原着發 鐵嶺着發 新臺子發 前 後 一一・二一 一二・一八 一二・三三
五・二三 六・二四 七・五〇 八・一一 九・一八 九・三三
遼陽着發 鞍山站着發 海城發 六・二九 七・三八 七・四八 九・二〇 九・三〇
三・二九 四・三八 四・四八 六・二〇 六・三〇
得利寺着 瓦房店發着 普蘭店着發 五・〇八 五・五五 六・三九 七・四四 七・五九
一・〇八 二・五五 三・三九 四・四九 四・五四
大連發 前一一・〇〇 後八・〇〇 大連旅順間 下り 時分
旅順發着 長嶺子着發 營城子發 前 七・二〇 八・一五 八・一八 八・三八 八・四一
後 四・二〇 五・一五 五・一八 五・三八 五・四一
營口發 大石橋着 蘇家屯發 前 後 六・三五 七・三〇 九・三五 一〇・三〇 三・五〇
注意 一 乘車驛 南關嶺南關嶺昌圖間各驛より旅順線各驛行のもの及同線各驛より南關嶺昌圖間各驛行の者

特別廣告

資本金貳千四百萬圓
積立金一千壹百五拾萬圓
本支店出張所
横濱 神戸 東京 長崎 大阪
倫動 里昂 紐育 桑港 布哇
孟買 香港 上海 漢口 天津
北京 大連 旅順 奉天 遼陽
芝罘 鐵嶺 安東縣
横濱正金銀行牛莊支店
(電話十番支配人室)(百八番事務室)

日本郵船株式會社 瀛船出帆廣告
●營口丸 十六日午前 太沽、芝罘、門司神戸行
大連出帆
●横濱丸 廿三日午后二時 門司神戸行
乘船切符發賣は出帆前三時間マデ 未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ
營口 代理店 旗昌洋行 (電話二六番)

大阪商船株式會社 營口汽船出帆廣告
●盛航丸 八月十五日 門司行
代理店 ブツレユ兄弟商會 遠來洋行 東營口公園地横(電話二十三番)

瀛船出帆廣告
●仁壽丸 十四日 芝罘行
松茂洋行船舶部 海岸東稅關西 電話(五二 五七)

朝日ビール、石炭、白鹿(日本酒)白糖、木材等類各貨物美價廉如蒙各商光顧請駕臨
松茂洋行商品部 (電話五二一番)

營業項目
一定期預金(長期存款) 三ヶ月 五分 六ヶ月 按年五分五厘 一ヶ年 六分
一當座預金(暫存款) 按年 四分五厘 日步 一錢二厘三毛
一小口當座預金(零碎暫存款) 按年五分一厘 日步一錢四厘
一送金爲換取組先(滙兌) 東京、横濱、大阪、神戸長崎 上海天津ノ横濱正金銀行本支店
一貸附金(放利) 一般財産並ニ土地建物ノ管理ヲ引受クルコト 不動産抵當貸附金ノ委託ヲ引受クルコト
一附帶ノ業務

正隆銀行
軍政署認可
本行受入の幣は軍票及正金鈔票手形は勿論墨銀小銀貨に至る迄滿々御都合宜敷樣可相働候尚近々の内過爐銀の取引をも開始可致候
營口西北街第二百三十號(日本人會西隣) 支配人 深水十八 (電話二百十番)

韋廉士大醫生紅色補丸滿洲總代理人牛莊遠來洋行
誌梳林邦地方瘋癱者獲救韋廉士醫生之補丸馳名於南洋之一帶以及各村莊有患病者服此丸均以得治今有一中國富家之婦患病之際痛苦異常無時停息衆人以爲命在旦夕後賴得韋廉士醫生(紅)製之補丸獲救其子乃一梳林邦礦務之正書記其母年五十有二歲患病九個月之久始於脚腫後則手足均瘋常有頭痛飲食不進即食亦不化體瘦面青白偏延左近醫士調理均不應手藥石不靈病勢日甚一日適有鄰友賜一部韋廉士醫生藥通書取閱得悉韋廉士醫生製有一種補丸應驗如神因購試之果然有轉弱爲强之力起死回生之功服有兩樽病勢頓減精神日增而諸般危急舊症一概退除不久全愈誠聖藥也夫韋廉士醫生之補丸以治男婦老幼瘋癱之症功效神速百發百中比諸尋常治法取効較速且能養氣補血並除抽筋絞腸鼓脹肝病宿食不化腎虛血不調以及婦女之諸病症此補丸各藥房均有代售或向本藥房購用本藥房設在新嘉坡第一度吊橋脚高利亞記街此補丸郵費在内六樽價銀八元每樽一元半茲將病症列左
或過力傷損或浪遊無度或居濕地或感熱症痢疾疫症傳染傷寒等症服此補丸無不立奏奇功
新嘉坡海第一度吊橋韋廉士大醫生告白

宅洋行
啓者敝行專賣綿紗粗布綿絲布荷花標布東洋緞子紋緞子絨布手巾花巾洋胰火柴鐘表等類價値格外克己並且貨眞價實以致敝行名譽日增前蒙官許在牛家屯設立鐵道邊運輸營業以便貴客就近辦理各項事宜於敝行推廣招徠之意愈覺著明所有華商賜顧本行專聘熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽款待周群俾可面商一切事宜幸中外士商鑒其誠實無欺惠臨賜顧曷勝榮幸之至
總司理人 田中賴之助謹白
開設老爺閣街同盛德院內 電話(店一八三番)(住所五五番)

東盛和
本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉絲布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並匯兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜兼置有輪船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉 貴客賜顧請到小號面議是有
總司理人 葉亮卿謹白

東永茂
機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運瀛船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之
正理事 潘玉田 副理事 金能魁
設在營口西北街路南

西義順
本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞
本主人敬啓

仁裕號
係裝運各幫火輪船生意兼賣各幫洋什貨糧石等此佈
營口西大廟街路北警乙第十三號

永順洋行
本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞子汁蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國十布家綿自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
在北街 東 櫃(電話九十五番)
西義順棧內 西 櫃(電話九十八番)

三井
電話 第六十六號 第九十一號
啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭、糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

倉庫部 經理

○發售新到洋白糖

今回倉庫所在地(青堆子精搗場上陸の河岸)の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候
(電話百二十八号)

○明治火險公司
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克己秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售 日本白米

○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克己秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

啓者火災之害影響於商界者最鉅營口爲通商大埠百貨叢集資本浩繁有保險以維持之可以有恃無恐法至良意至美也小行經理日本火險公司已歷多年幸蒙中外所信用前有王鹿芹 郭漁笙 朱斐章 先生久在營口信義素著且於保險章程最能熟悉小行特請爲代理人以廣招徠使保險者便於接洽聲應氣求較之直接尤爲穩妥諒亦諸貴商所樂聞乎如蒙 賜顧請逕至大德亨內面議可也
三井洋行啓

營地商務之盛大異昔年惟於火險一道以謂關於天數吝惜保費孰知一家東本數萬金常存數十萬金之貨一遇不測非但數十年老業難繼即殷實東家亦覺受累無窮可見保險之有益豈淺鮮哉 僕等承三井洋行謬愛囑爲代理明治火險公司保險各事 僕等素知該公司及該洋行信義久著故敢代爲介紹且保費亦較他公司克己諸公賜顧請 駕臨大德亨內面議不誤
王鹿芹 朱斐章 郭漁笙 仝啓
洋行 電話 第六十六号 第九十一号

廣告
大日本帝國軍艦昨日入港す軍艦を觀覽せんと欲するものは東稅關濱棧橋に來れ小蒸滊船河風號を以てシャンパンの業をなし切符を發賣す切符の往復廿錢

啓者大日本帝國軍艦沖島壹岐等大小艦艇十數隻於昨日進口停泊西歷本月十四號十五號兩日(上午九點鐘起至十一點鐘下午十二點鐘起至三點鐘)概許觀覽因之本公司擬特備小輪船河風號於東鈔關前以資觀覽該艦船艇之便利水脚每一人銀洋二角切望欲觀覽者勿誤時機致貽後悔此佈

賃銀

自＼至	河北	西稅關	東稅關
牛家屯	三十錢	三十錢	二十錢
東稅關	二十錢	二十錢	
西稅關	十錢		

本公司は牛家屯東稅關西稅關河北間に小蒸滊船ホーチン號を往復せしめ牛家屯河北停車場發着列車の連絡を取り旅客の迎送をなす
本公司は牛家屯營口河北間貨物の運搬及屯船の依頼に應ず御用の節は電話二百三十六番へ御一報煩し度候
本公司乘船場は牛家屯停車場前棧橋河北停車場前棧橋東稅關棧橋西稅關東部にあり切符發賣所は各乘船場及船中にて發賣す
數回切符は特に割引可致候

列車連絡時間表 (日本時間)
東稅關午前五時發 牛家屯六時三十五分發列車に連絡
仝午前六時發 河北七時發列車に連絡す
東稅關午後七時發 牛家屯九時三十五分の列車に連絡
牛家屯午前九時四十分發 牛家屯九時十分着の旅客を迎ふ
牛家屯午後八時四十分發 營口牛家屯間通勤諸士の營口歸りの便を計る
河北午後六時發 河北五時四十分の旅客を迎ふ

東省巡航公司
營口元神廟街第五十五號 電話番號二百三十六番

洋鐵鋼
麥粉、白糖、白米、玻璃板、亞鉛板、鐵線、洋釘類、建築土工用具及船具類
其他諸機械ノ製作修繕
安東縣市場通七丁目 合資會社秋田商會支店
安東縣東大街 合資會社秋田商會支店

今般其筋の許可を得左の處に於て精良牛乳販賣仕候間多少に拘らず御試用の程奉願候
元神廟街二四九 (電話三番)
精乳軒牛乳販賣所

SP
糸平公司
本舖在大阪開業以來一百餘年今特於本埠開設支店所有發賣物品價美價廉如蒙中外士商賜顧請至行購買可也今將自製布頭列下東洋各色絨布毯各式被面各色布疋各種綿布其他一切織物概行發賣並特約販賣 正日光皮酒價及各樣雜貨尤廉減特此廣告
營口元神廟街南邊路西 (電話百九十二号)
朝日ビール特約大販賣

志岐組
本組業設營口綏定門外專辦架造房屋及做工之事自今發售各種日本木料洋灰玻璃洋酒麥酒便利瓦等類價値格外從廉品質精良並且貨眞價實以致本組格外名譽其誠實無欺惠臨中外士商賜顧請到本組面議是幸
本主人謹白
(電話八十一号)

鐵道 遼河 裕和盛運輸局
在東營口西北街旗昌洋行對門
啓者本号向在日本長崎開設數十年開店仁川木浦鎮南浦朝鮮國漢城等處專賣中外雜貨足頭艮物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東淸鐵道輸局代客裝運貨各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人 周鶴雲 運輸部主任 高濱麟太郎 謹啓

嚴州 怡昌祥茶號
本號專在徽州黃山採辦三十六峰雲霧仙神名茶色香味與衆不同加工揀焙重實徽郡珠蘭不惜資本以圖久遠凡貴商大寶號賜顧者請認明本号黃山圖記庶不致誤
怡昌祥主人謹白寓營口恆利德

日本官造紙煙專售告白
本號現開設在大連、安東縣、營口、遼陽、奉天、鐵嶺等處專售日本官造紙煙朝日(紅旭牌)大和(雲花牌)敷島(蓬島牌)娟嫣唎(軍旗牌)隆佑來福(雙仙鶴牌)利利(百合花牌)捷利(櫻花牌)斯達(星象牌)哥耳大巴德(蝙蝠牌)等九種及煙絲各樣
東營口西北街(舊代代木公司) 日本官煙營口專賣處

救治萬病 濟生八方 神效無比

久しく其來航を見るべしと傳へられたる我第二艦隊は頃日來天津秦皇島等の地を歷訪し、遂に昨十三日を以て我營口に入港せり。吾人は我祖國の軍艦の來るを迎ふるさへ既に歡喜に堪へざるに、今や戰利軍艦たる壹岐沖の島以下五艦と、若干の水雷艇及び水雷驅逐艦とを以て編成せる艦隊の、威風堂々、舳艫相銜んで來るに遇ふ、吾人の快事何ぞ之に過ぐるものあらんや。國民の發展は海軍旗に伴ふ、海軍旗の向ふ所、即ち國民的勢力の扶植せらるゝ所たり。

日露の役、攻城野戰の功は固より之を陸軍に歸せざる可らずと雖も、而も百萬貔貅の能く大海を渡ることを得て、懸軍萬里、毫も後顧の憂を見ず、健闘勇戰、勁敵をして遂に南滿の地を拋棄せざる可らざるに至らしめたるもの、一に我精鋭なる海軍の力に之れ頼れりとすべし。況んや旅順港口の閉塞、日本海の大戰は、凡そ世界に海軍史ありて以來、稀れに見るの快戰にして、其動の壯烈なる、其成功の偉大なる、環視列國一たび其報を得て、驚動感嘆、帝國の勢威爲に九鼎大呂よりも重し。乃ち此赫々の光譽を荷へる我帝國海軍の一部たる第二艦隊の來る、吾人豈雙手を擧げて之を歡迎せざるべけんや。

然れとも吾人が我艦隊を歡迎せざる可らずといふは、單に有事の日に於て其力に負ふこと最も多きを以ての故のみにあらず、平和の時に於ても其海外貿易は我海軍旗によりて擁護せられ、其在外邦民亦我海軍旗によりて保護せらる。想ふに我營口在留六千邦民が、萬里異域に在り、而して最も安全に貿易し、營業し、勞働し得るもの固と陸軍憲の保護に賴ると雖も、亦一に我海軍の力と相待つもの無くはあらず。今や我貿易の擁護者たり在外邦民の保護者たる我第二艦隊は其根據地を出動し、北清の諸港を歷訪し、我營口に來れり、在留邦民之を迎ふること、猶我慈父慈母を迎ふるが如く、雀躍殆んど手の舞ひ足の踏むを知らざるもの其故無きに非ず。左れば我六千在留邦民は、官民一致其來航に先ち、既に諸般の準備を了し、本日を以て其歡迎會を擧行せんとす。盛況以てトすべし。但だ營口の地たる、風物固より蕭索に、絶えて耳目を悦ばしむるもの無く、以て遠來諸將士の勞を慰するに足らずと雖も、唯一片吾人の誠意を酌み其志を諒せば、則ち望外の幸福なり。此に我第二艦隊の來航に際し、帝國海軍の万歳を三唱し、併せて同艦隊乘組諸將士の健康を祝福す。

營口重要物價

穀物相場（五日）

青豆	一石	兩六、七〇錢
黄豆	仝	六、〇九
黒豆	仝	六、〇〇 元角分

綿布相場

大鹿	一疋	兩四、〇四錢
雙狗頭	仝	四、〇六五
金大牛	仝	四、〇〇四

東京電報

●滿鐵常務委員（十二日發） 寺内委員長は南滿鐵道創立業務委員として左の諸氏を命じたり 岡野敬次郎、山座圓次郎、若槻禮次郎、石本新六、中小路廉、山之内一次、關宗喜

●定款調査委員（同上） 委員長は同時に定款調査委員として左の諸氏を命じたり 岡野敬次郎、中小路廉、山座圓次郎、新井晴簡、山之内一次、和田彦次郎、大石正巳、土井通夫、中延英、堀田正養、澁澤榮一、佐々友房、大岡育造

●政府草案の可決（同上） 十一日に於ける定款調査委員會は政府起草の定款草案全部を可決したり

●米使と殺害事件（同上） 日本漁夫殺害事件に關し米國大使ライト氏は我當局に對し愼重の調査報告を爲すべければ決して誤解無き樣と懇話したり

●普通學務局長（同上） 白井柄木縣知事文部省普通學務局長に任ぜられたり

●滿洲開放と伯林（同上） 滿洲開放は伯林の政論社會に歡迎せられ滿洲は開發の第一着手として信憑せられたり

●商品の無税輸送（同上） 露國は大連を孤立せしめんとて西比利亞鐵道に由り無税にて商品を滿洲に注入しつゝあり

京城電報

●後藤長官出發（同上） 後藤長官本日京發一旦歸臺せり

●露領事着任通告（十二日發） 駐京城露國總領事プランソン十一日統監府に着任の通告を爲せり

雜報

●跟隨雜記（特派員）

鐵道受領 今回受領せる

▲保線工事の不行屆 公主嶺寛城子間も其以南と同じく戰爭中より十分に保線工事の行屆かざりしと其後日本に引渡すとと爲れる爲め線路中脆弱の個所少からず現に三十一日寛城子より公主嶺に來れる列車の脱線して路傍に轉覆し居るを見たり斯の如きは同線路に於ては普通見る所の出來事の由にて如何に保線工事の不行屆なるかを證するに足らん

●初日の大坂相撲 昨十三日の大坂相撲は初日に拘らず大人氣にて見物人開場前より押掛けたり勝負の重もなるものを擧ぐれば

甲州山 鳳凰 玉の森 松ヶ枝
友碇 碇野 大江山 白藤

又本日二日目の取組左の如し
東 西 東 西

淡谷
本號開設營口東青堆子發賣
栢木元料 紅松料 木油 松方料 元木 大小
標子 廿四尺 栢木 大杆 木板 比木 材 出售

歐米各國 最新流行形

晴
自八日午後六時 至九日午後六時

▲我改修工事 左れば我國が今回受領せる鐵道線路の改修工事即ちレール取換ばめを爲さんには四平街以北長春に至る間は少くとも枕木は三分の二を補充せざるべからず當局者の談によれば非常なる妨害に遭遇せざる限りは九月下旬迄に四平街迄を終ふるを得べく其以北長春に至る間は約二十日を要すべしと

▲露國撤退の光景 我委員等一行の公主嶺停車場へ進入せる時將に發車せんとしつゝありし列車は露國の引揚列車を北方に送くるべき最後の列車なりき中には數多の婦人も見受けたり小兒を携帶せるものあり見慣れざる日本人を見て頻に訝かりつゝあるものゝ如く殊に住み馴れし已が舊き住家を顧みて遲々として去るに忍びざるの情ありしは一行も坐ろに同情の涙を禁ずるを能はざりき

▲將校宿舍の引渡 公主嶺停車場は附屬家屋及び兵舍等白五十棟ありしも一も破壞せられたる所無く中に將校宿舍らしきもの悉く清潔に掃除迄して引渡さる而して兵舍は露國將校の求めにより露兵の立退と共に直に我兵を交代せしめたり是れ兵舍を一日にても空屋にし置けば支那人の來りて直物を持ち去るが爲めなり（未完）

營口八景の一（天主堂晩鐘）

●遼陽六二聯隊軍旗祭 精鋭壯烈に富める四國播但の健兒を聚めたる在遼陽六二聯隊は厤茲に一年名譽ある軍旗親授の紀念日に相當するを以て去る八日第一回の軍旗祭を行はれぬ式は遼陽北練兵場に於て輝々たる旭光を浮びつゝ最も靜肅なる間に光榮ある聯隊の奉迎式を了へ次に分列式を行いて其式典を擧げられたり祝宴及餘興は風致と絶景に冠立せる喇嘛公園綠深き所に開催せられ特に餘興は八日より九日に渉りて非常の盛觀を呈したり

▲餘興 定刻午前十時半一發の煙火を合圖に餘興は開始され龍戰虎闘の相撲因光雷火の擊劍さては銃劍壯快なる各種の競走活潑滑稽に富む手踊劍舞（八日分）異樣異態滑稽の仁和加れ列皷絃賑々敷園尻或は假裝騎武者の行列等雜種の余興は殆と網羅して餘す所なく來孰れも興味歡感に打たれたり就中日頃軍務に他念なき兵士の快情面に溢れ喜々として拜せんばかりなりき正午十二時兒島聯隊長よりの傳へにより宴會場の傍斜面地に一同整列紀念の撮影をなしかくて宴席に就けり

▲開宴 喇嘛公園の高地展望の好位置を撰びたる宴會場は上面幔幕を以て蔽ひ食卓は整然として其配置間然する所なし山中師團長は未だ病褥中にて欠席され宮崎參謀長を始め各部隊長速見副領事並に清國各官民間の紳士等百餘名の參列者秩序正しく食卓に就きたる時兒島聯隊長は音吐朗かに一場の挨拶あり次に宮崎參謀長の發聲に乘和し杯を揚げて天皇陛下の萬歲を唱し次で兒島聯隊長の發聲の下に六十二聯隊の萬歲を三唱し終りて盛大なる宴會は開かれぬ接待員の遺憾なき斡旋により主客孰れも滿飮滿食し宴酣なるの時余興福引は開始され場内は歡聲笑談を以て充されたり聽、模擬茶店餠店の報傳はるや三々伍々順次會場を去り宴會はてゝに閉ぢられぬ（未完）

●第二艦隊來る 吾人が待ちに待ち受けたる我第二艦隊は司令長官出羽中將の指揮下に渤海の風濤を破りつゝ昨午前の滿潮時なる八時に於て威風堂々として遼河を溯航し當營口に入港せり我營口よりは與倉長官瀨川領事黑澤副稅務司の民間の重もなる人々小蒸滊を艤して之を出迎ひたり嘗て赤城艦を迎へ鳥海艦を迎へたる吾人は兩三月ならざるに又滿韓警備の任に當れる第二艦隊を迎へぬ吾人在留邦民、萬里異域に在りて爲めに大に人意を强うせるもの深く其力を多とせざる可らず今同艦隊の入港に就き聞く所を一括登載すること左の如し

▲來航の艦艇數 來航の艦艇數は總計十一隻なり即ち壹岐沖の嶋千代田浪速龍田の五艦と驅逐艦四隻（朧、曙、雷、電）及び水雷艇二隻となり而して當港に入港せるは龍田以下驅逐艦水雷艇七隻なり日本海大海戰の戰利記念艦たる壹岐沖ノ島と千代田浪速とは河口淺くして本埠に溯航するを得ず港外遠く二十海里の沖に碇泊せるは吾人の大に遺憾とする所なり

▲乘組總人員 全艦隊の乘組總人員は驅逐艦水雷艇を除き將校以下千八百二十九人にして其艦別は壹岐七百人、沖の島三百五十八人、千代田三百十二人、浪速同上、龍田白四十五人にして將校は驅逐艦水雷艇を合せ百三四十人とす各艦長及び重もなる乘組員の氏名は昨紙之を掲載せるを以て此に之を省略す

▲伏見少佐宮殿下 同艦隊中には伏見少佐宮殿下浪速副長心得として御乘艦在らせらる吾人は親しく陸上に奉迎して玉顏を拜する光景を得んことを期待せるに宮殿下には何れの御寄航地にても御上陸あらせられず是れ殿下の御上陸あらせられては官民を煩はすとも多く且つ他の將校の自然遠慮して打ち寛ろぎて歡樂し能はざる恐れありとの御仁慈なる御意なりとぞ承はる左れば宮殿下に於かせられては今回も多分御上陸あらせられざるべく若し其事ありとも御微行にて專ら簡易を旨とせさせ給ふべきやに仄聞す

▲一部の奉天觀光 昨日同艦隊の入港するや艦隊一部の將校即ち山屋參謀長石井沖の島艦長上泉浪速艦長以下三十八名は奉天の觀光に從ふべく九時發の滊車にて出發せられたるが本日午後九時着の滊車にて歸艦せらるべしといふ

▲碇泊日數及出發地 碇泊日數は十三、四、五の三日間にして十六日大連へ向け拔錨すべく大連よりは更に芝罘に至り再び大沽に赴くべしといふ聞く同艦隊は滿韓沿岸警備の任務を有するを以て絕えず黃海渤海の海面に游弋すといふ

▲軍政官の請待 與倉軍政官には昨日上陸せられたる出羽司令長官中尾司令官以下重もなる將校を同夜七時より同官舍に請待して盛饌を張られたるが席上種々有益の談話あり十一時頃散會せり瀨川領事黑澤副稅務司其他在留民中の重もなる人々兩三名も招筵に預かりしといふ

▲司令長官等の宿泊 上陸將校中の重もなる人々は昨夜は歸艦せず出羽司令長官は軍政署官舍、中尾司令官は黑澤副稅務司宅に其他の幕僚等は各旅館に宿泊せり

▲今明日の拜觀時間 入港の龍田以下驅逐艦水雷艇とも一般內外人の拜觀を許さるゝが其時刻は午前九時より十二時午後一時より四時迄の間にして其稅關前に於て特に軍政署より特許を得たる小蒸滊船あり一般拜觀者の搭乘に便すといふ料金往復銀二十錢

▲港外碇泊艦の拜觀 時間に制限無し拜觀を希望する者は何時にても許可せらるゝ由なれば有志の士は自ら船を艤して訪問せらるべく在艦將校は特に說明の勞を執らるべしとなり因に領事館員一同も今明日の中に小蒸滊を仕立て特に戰利軍艦の拜觀を爲すべしといふ

●高橋參謀長の榮轉（鐵嶺） 謹嚴率直を以て重きを第十四師團に爲したる高橋參謀長は今回侍從武官に榮轉せられ去る十日午前十一時發滊車にて鐵嶺出發赴任の途に就かれたりといふ

●飛田正金の歸朝 鐵嶺正金銀行出張所主任飛田秀濟氏は感重要の用件を帶び去る十一日出發歸朝の途に就けりといふ

●營口の日本居留地 營地の全居留地工事は夫々手步を進め新築に着手せる向も尠からざる趣にて中には已に完成を告げたるもあり井上公司の如きは已に仝所に引越したる由なり

●熊本縣學生の歡迎 在營口熊本縣出身の莊村、吉仕、河瀨八氏は一昨日來營せる熊本縣修學職員學生にビール菓子等を贈りて長途の勞れを慰め且濟々黌職員五名生徒八名は特に同黌出身の五氏之を東海樓に招待し支那料理の饗應をなせりと

●本日の官民歡迎會 世界の海軍の精華たる名譽の帝國海軍を歡迎すべく滿韓貿易の監視者滿韓在留邦民の保護者としての我第二艦隊を歡迎すべく營口在留官民によりて企てられたる歡迎會は愈々本日午後八時半（日本時間）より軍政署官舍庭園に於て開催せらるべし請待する所の賓客は總べて日露戰爭に於て赫々の名譽を荷へる武將復た平生の謹樂と同視すべからず之を迎ふるに誠敬を以てし之を待つに禮節を以てし毫も惰容あることを許さず左れば其服裝の如き參會者は成るべく燕尾服を用ゆるを要し若し持合せ無き者は袴羽織又はフロックコートを着用すべき規定にて宴會は例により立食餘興には海軍樂隊の奏樂あり校書は營口の萃を拔きて二十六名丈け讌席に侍すべき光榮を有すべしといふ因に該宴會の主人側なる參會者は接待上の都合もあれば時刻前に必す參集せらるべしとなり

●滊船彙報

▲旗昌洋行の取扱に係る滊船營口丸は一昨日荷物六百五十七個乘客中等二名下等五名を載せて入港せり積荷の重なるものはビール昆布なり

▲滊船有明丸は材木を積んで一昨日入港せり

●一往一來

▲滊船萬成源同雲南同宜昌同テバンは濟國諸港より入港せり積荷の重なるものは麥粉、綿、生牛等なり

▲陸軍教授米山久作同石川成章同鈴木常治同依田雄甫氏は昨日山海關より來營大和館に投宿せり

▲渡邊旅團長は副官鎌田大尉と共に昨日來營旭館に投宿せられたり

▲第十四師團步兵中尉蓑輪正英同主計岡山與三郎の二氏は一昨日來營營口ホテルに投せり

▲目睹耳聞 營口居留民六千の同胞が大旱の雲霓を望むが如く待詫びし我第二艦隊は愈昨日を以て入港したのである▲第二艦隊の全部はいづれも日露戰役の歷史に光輝を添ねたのであるが就中前身ニコラス一世たる壹岐及び前身アプラキシンたる沖の島の二艦が艦隊の樞要部を占めて居るてふとに就て我同胞は孰れも一種の快感に打たれざるを得ない▲只遺憾なりしは分捕軍艦たる右二艦が共に河口內に進入することを得ずして沖合遙かに碇泊するの已むを得ざる一事である▲第二艦隊司令長官たる出羽中將及司令官中尾少將は昨朝其旗艦旗を龍田に移し、二隻の水雷驅逐艇を隨えて徐ろく津內に進入し直ちに上陸せられて出羽長官は軍政官署に中尾司令官は黑澤副稅務司邸に入られたのである▲記者は名譽ある此二將官に敬意を表すべく先づ出羽中將を軍政官舍に訪問した▲中將は海軍の略服に燦たる勳章を胸間に掛け森嚴なる態度を以て接せられたのであつた▲中將曰く我第二艦隊の任務は刻下韓半島の沿岸及北淸一帶の海岸に行動しつゝあるのであるが近來韓國に於ける我移住民の日を追ふて增殖するは頗る喜ぶべき現象と謂はねばならぬ▲譬へば爰に一ヶ月百圓の收入ある一家があると假定して最初は夫婦暮らしに下女一人位で濟むが漸々と子孫が繁殖するに從つて餘計な人も使ふ樣になると一定の收入では苦しくなるので子供を弟子に遣つたり嫁に遣りたりする▲國家もそれと同じ譯で之を小にしては一家の維持上之を大にしては國家の維持上是非共外に發展せざるを得ない▲この滿洲の如きも其幅員より云へば日本の廣さよりも潤いのだから南滿洲に一つや二つの港口を有つのは恰も日本で長崎や神戶の外に港がないのと同じではないか▲暗に營口將來の繁榮を疑恨する徒の爲に一斷案を下されたかの如く感じたのであつた▲長座は却て畏多しと思ふし匆卒辭し去り踵を旋らして中尾少將を黑澤稅務の邸に訪ふた

日報俳壇 野梅選

課題集句選 其五

◎雲のみね盥の水に搖るゝかな 稻波
○烟見ゆる水平線上くもの峰 同
ゝ梅を干す眼のくるめきや雲の峰 同
○蟬なくや山を下りの檪原 同
紀念林の楠また低し蟬のこゑ 同
狙ひよりし蟬屎して飛てけり 同
○森涼し蟬飛びかはし鳴かはす 同
○蟬鳴くや道標左木曾街道 同
雲のみね鬼の腕やら龍かしら 旭山
○長城を根にして立つや雲の峰 同
ゝ半球は雲の峰にて圍ひけり 同
○萬卷の書を枕頭に午睡かな 同

市松格子 (二)

ふみを生

「まあ大變だわ………」

細目に開いた障子に倚れて打見やる十歩の庭。打靡き打搖めき枝を鳴らし葉を飛ばす老樹、稚木の梅や松、盆栽草花にいたるまで。かなたは朝顏棚の竿を倒し南天の幹をかき分け、こなたは花柘榴の鉢を覆へし、鳳仙花を根こそぎに、紫陽花なども葉も殘さず。

「何も彼も滅茶々々になつてるわ。せめて鉢物でも入れて置くとよかつたんですけれど。………石燈籠の頭まで落下つてるんですもの。………」

顏は並ながら瘦形に上品な格好、振掛る遅れ毛と紅のしごきに艶を見せたふらんねるの寝衣姿。

「松もどうかなつてるだらうね」と室内から男の聲がする。

「松だつて海棠だつて折れ了つてよ」。

「其奴は失敗たな。惜しいことをした。まだ中々止みさうにもないね」。

「えゝえ、迚も止むどころぢやありませんわ。天は眞黒。墨を流したやうですもの。………雨まで降り出しましたわ。大變な嵐ですよ」。「寧ろ降出したら却つて風は凪るだらう」。と、もの丶氣勢がすると立つてる妻の肩越に髭をひねりながら顏を出して

「うむ、これは酷い。箱根から逆落しだ、尠なくとも今日半日は止つてなしだね」。つと身を乗出して椽から湯下駄へ片足を却したが、時しもあれ、ぽつり〳〵と落して來た大粒は容赦もなく、篠を束ねて大地も押流せと而も横しぶきに凄じいざんざ降りとなつたので是非もなく只呆れ果てた樣子して椽に突立つたのである。

昨日の晝から蔽ひかぶさるやうに打曇つた空の暮れ方の西陽にものすごい雲の色を見せて、蒸し暑い夜を過させたのが、あかつき方にもの丶倒れる音が仕出したを手はじめに吹くわ、吹くわ、軒を拂つて、磯を動がす大あらし。遠雷の音を添えて、さながらけたゝましい其の朝。「徒勢ですよ貴郎、放つて置かなけあ、もう迚も手が附けられあしませんわ。少し風よけでもしてやらうかと思つたんだけれど……。」と打呟やいて、室へ入る機に、また一搖り、颯と吹下すと勝手の方にカラ〳〵と桶や轉がつたる。大臼を引き廻すやうな音をして、雨は一文字に車軸を流すやう。「吉や、雨戸は閉つてるかい、吉や。」ほんとに酷い嵐だよ………と獨言のやうに云ひながら妻は自身勝手の方に行かうと間の襖へ手を掛ける其時、「恐ろしい嵐でございますね、奥樣」と云ひながら向から入つて來たのは雇婆のお吉。

「雨戸閉めなくつても可の? 降り込むだらう。」

「は、はい、皆閉めまして御座います。降り込みます處か、此方を閉てやうとする中に彼方が濡れ、彼方を閉めにゆけと此方へ降り、轉挺舞の大騒で、やつと、仕末はしましたけれど其お蔭で板の間はびしよ濡れでございます。」

「さうだらうね、何しろ珍らしい大降りだから。庭も全然荒了つたわ。且那樣のお好な松も海棠も滅茶〳〵よ。」

「是でございますか、昨夜の中に仕末致して置けば可でございましたにね………。」と云ひかけるのを遮つて。

「默つてでらん、誰か來たやうだよ、妙な音がしたわ。」

「へえ、」と床の取かたづけをする手を止めて、「誰樣でせう、這麼雨の降るのに。それ往つて見ませう。」

やつてら、腰を押立て押立、出てゆく。

雜報

●營口佛教婦人會の艦隊慰問　當地本願寺出張所内の營口佛教婦人會にては今回入港せられたる我が名譽ある第二艦隊へ歡迎の意を表する爲め乘組下士卒へ寄贈品の中へ銀拾五圓寄贈せしところ今回又將校園一同へ該會より直接に寄贈の物品携帶して有志の會員一同は假徽章佩用なし艦隊へ慰問に至る由尚會員にして愛國婦人會員たる方は當日其の徽章をも佩用せられたしとのことにて時日の決定次第に該會より通知する筈なりと

●大連の彩票　大連の彩票第九次は去九日開票したるが營口裕和盛にて賣出したる分の内當籤したるは左の如しと

第二彩	10,三三六	同上下附彩	10,三三五	10,三三七
第四彩	一四,三五〇	一四,三〇一	〆一票	
第五彩	一四,三三六	一四,二〇一	〆二票	
第六彩	九,二四六	10,一三〇	10,三七五	
	一二,二二三	一四,二四二	一四,二〇八	一四,三〇六 〆十票
第七彩	五,〇一一	五,〇六七	九,三三三	
	10,一二八	一一,一〇八	一一,一一三	一一,二七三
	一四,二九〇	一四,二四〇	一四,二四〇	一四,二九〇
	一四,三一六	一四,四〇一	一四,四三三	一四,四九四 以上十四票
第八彩	五,〇三〇	五,〇三三	五,〇九七	
	10,一五一	10,一六〇	10,一八九	10,三六七
	10,三八三	一一,一〇三	一一,一三九	一一,一四四
	一一,一七三	一一,一八二	一一,一八六	一一,二二三
	一三,二三四	一三,二六七	一三,二八三	一三,二九三
	一三,九二六	一三,九六一	一四,二三八	一四,二五〇
	一四,三〇三	一四,三七一	一四,四六五	以上二十七票

合計五十四票

●とんだ馬賊騒ぎ　所は奥の鐵嶺にて〇〇通譯△△太郎と云ふ人は頭に半分支那化して可愛らしい芥子坊主で年はと云へば孫の一人もある年配たか去るＨ支那語呂會に列席しての歸るさ酒が持出す助平根生醉眼朦朧として名代の鐵嶺ホテルに上り込み新規貢出しの桃太郎を上げさんさ騒ぎの末一寸せゝくり見たるに何がさて御思召は有難いが生憎御持ち合せが無いので依らず障らず追返へされ眼を白黒にして歯をぎりぎりして返つたでホテルではやれやれと一同臥戸に入りし頃は早や丑三つ過る頃晝の勞れて皆白河夜舟艫の音ならで鼾聲高き折柄番頭の福田某は馬賊騒ぎのはげしい此頃事有つてはと寐るともなくて居たりしに何處とはしらすギリ〳〵………音するので恐る恐る頭を上げると出たも出たも憐りの窓の張布をばりばり破りて忍び込む豚尾頭の月の光に見えければ扨てこそ馬賊ござんなれいさ目に物見せて呉んずと思つたは只瞬時早腰抜けて立居さへ出來ずなりしかど事後れては詮なしと一生の勇を振起し裏の屋根傳ひて憲兵隊へ一散走り「只今馬賊が馬賊か」と後は息切れ言ひ得ぬをさすが職掌柄それ逃すなと四方に非常線を張り早速現場に出張し眠れるヨ人を叩き起し注意を與えつゝ案内のまゝに從へばコハソモ如何に窓の破れは其儘なれど賊の這入りし形跡も見えねば灯を點して點見すれば酌婦おとめの室に夜具追ひ被りて動かぬものあるよりヘツと夜具引のくれば一人の芥子坊ニヨツと出で來たれば一同あつと計りに驚きたるにては宵の内に去りしと思ひし〇太郎なれば扨は貴君かと詰り問へば「アヽ醉ふた〳〵此處は何處じや………」「コラ不埒者立去れ」憲兵殿の一聲非常のおまちがいにて名前丈けは御預りとして立去りしと奥の方から投書がヒラヒラ先づ近頃の面白い物種なり

●賣藥行商者の怪事(遼陽)　遼陽に居留する賣藥行商者の内清人の愚昧なるに乘し押賣をなし若し購賣を拒む等の如き事あらば往々短銃を擬し強迫ヶ間敷態度を以て押賣する爲め其災に罹りたる清人は近頃清國官憲に訴へ出て保護を要求し居れりと想ふにては無資無頼の徒動もすれば簡易なる賣藥行商者に扮し斯の如き不法行爲をするに至るものならんと同地よりの報其まゝ

▲在營口の邦人が滿洲經營等と駄ぼらを吹きながら肝腎な清語を習ふともせずボコヘン位外知らず其ト言語が通せねと鐵拳を振り舞す如き暴行を敢てし陋習を露出して毫も恥ぢとせさるは實に嘆かはしい(春濃生)▲俳句會の企は小生大に賛成です幸に記者先生の御幹旋を煩し何とか紙上にて御發表下されますれば喜んで御加名を願ひます(午狗郎生)▲營口在留青年中明年徴兵適齢の士に告ぐ僕は明年三月其爲め歸朝する者なるか諸君等と茲に一團体を組織して船賃等も精々勉強させ其他種々に運動して面白く歸朝しては如何同賛の士本欄にて御通知を乞(ＫＯ生)▲鐵嶺倶樂部は會員到共玉突場の外腰を掛くへき處もなし之れでも倶樂部の名に恥ぢさるや夫れ其玉突專門家の倶樂部か(困却生)▲俳句會の開催は宜し僕は大賛成又柔術及撃劍會も興したいものた記者足下どうか創立者になつて下さい(春濃)▲昨十二日の紙上の俗歌の瀧口入道は中ゝ面白く感服したから俗歌壇を大に奮はして世間の猥はしいつまらぬ俗歌を矯止しようてはありませんか(矯正會員)▲鐵骨△士よ僕は同感の汁を得て甚た悦てぶ降らぬ人身攻撃や貴婦の批評は投書籠から驅逐したいもんた(春濃生)▲安物買君へ妙技ある散髮屋や入地由唯一の生命を委する醫士に藥價や診察料の直下を呼ぶ貴公は早々内地へ歸り山奥に引込んで芋でも食つて生活するかよい(天下公論生)▲有情なる人に告ぐ余輩も貼下に一滴の涙無きにも非す只有情の人では知れませぬから貴下の御仕所を御知らせ下さい(同情生)

●夏寂寥(平野町二本町の夜)　ヨ年は秋出組であつた、いまは和田洋行の角車止の棒の突立た薄暗い路次を入ると此處が始まつた相撲の取組触れかも呻り終つた所たらう、呼ひ奴の長く引いた聲も寂しく殘して此地あたりにゐるものにはもの珍らしいチヨン髷姿い提灯持た小相撲を中程に、ぞろ〳〵と七八人の人數が路次を出て去つた。

去年の今頃は隨分肩々相摩する賑かさであつたがと思ひ〳〵營口坐の前まで出る。引きかへて氷屋も、料理屋も、人一人見えず、絃の音一つ聞ず、三人二人軒下に化粧した女の涼んでるのが目に止つた計り。大工の家ででもあらう網襦袢着に男と裕衣の肌抜いた男三人膝を剝出して罵りあつてゐるのが一糸を挿ます奥行の狹い家の中に見透いてゐる、横に切れて見晴し亭の方へ出ると天高うして隙間もなき星月夜、對陣の敵味方矢を射交すかのやう星の流るゝか頻と思つて、ある料理屋に窓越で語らふ男女の前を、つと過て床屋の角を二本町へ。開廣げた樓上に面白くもない騒ぎ唄にざんざめいてゐる家が二軒ほどはあつたが、あとは家の者同士が男女巫山戯合てる位のもの。と見ると土人が四五人も小さな入口に覗き合てる處もある。

「你呀:你的貨買的多少錢」

「一毛錢好々的」

「好臉子」

など〳〵獨よがり、口々に女を揶揄てゐるのだ。只有、雜貨屋の門に女二人が頻と顏突合せて

「………そつでも貴女、那麼好物ばつかり出しとることも出來ませんもん………」。

なぞと云ふのが耳にとまつた。萬事か地味な事中にはぽつん〳〵と掻鳴して

「………長いものとはまんまるな………」。

と味なものも聞ゆるが、粹を利したつもりか家内から虫の聲を洩さしてゐるのさへ共に邊に響添えるかさなから秋の野を通るかのやう。なか〳〵に夏の宵寂し。(草生)

今回我が名譽ある第二艦隊入港に就て本會より歡迎の爲め已に乘込下士卒へ物品寄贈中へ金十五圓寄贈せしところ今回又將校園へ本會より直接に物品寄贈することに相成り已に有志の會員方より左の如く金員た寄附相集り居候依て此の際速に會員たると否とを問はず有志の諸兄姉御賛同被下度本日午後三時〆切迄に本願寺出張所へ御寄附の金員御屆被下度候也

逐て本會より艦隊へ寄贈品携帶して慰問に罷出候間出席の會員は本日午後三時限り本願寺出張所へ御申出被下度候右申込〆切時間後は準備の都合上御斷り可申候

但し服裝は各自隨意の事又本會より當日會員へ本會の假徽章を交付すべし

五圓 與倉幹子　仝 瀬川いく子　十圓 岸澤小せい子　三圓 増田うた子　一圓 金子つな子　一圓 高橋たかみ子　一圓 清水かつ子　一圓 島崎みつ子　五十錢 坂本みつ子　佛國巴里製繪はがき　一圓 粕谷ひさ子

一圓 神野道子　一圓 上田つね子　一圓 大森せい子　一圓 井田かね子　一圓 寺本むか子　一圓 尾辻しほ子　一圓 小泉すて子　三圓 橋本貞子　一圓 松井貴子　三百枚 田邊みさほ子

明治三十九年八月十四日　營口本願寺出張所内

營口佛教婦人會

第二艦隊寄贈品寄附金芳名追加

三十圓 瀬川淺之進　二十圓 領事館員一同　二十圓 上野作　五圓 久間九郎

廣告

●印判彫刻 ●ゴム印 ●活版名刺 ●各色印肉 インキ 附屬品一式

各位の御引立に依り日に月に隆盛に趣き候段奉謝候今回技術精好なる職工數名雇着候に付分店設立と同時に一層勤勉を以て期日正確價格低廉貴需に應ず可く候間多少に不拘御下命被下度候御報知次第店員參上仕候

刻字舖 尾崎洋行 營口永世街三十七号

尾崎洋行分店 奉天小西關大街二七八号南側

●煉瓦販賣 上り竈ニテ日本人ノ製造シタル堅牢ノ煉瓦ガ御望ナレバ當洋行ニ御需メクダサイ

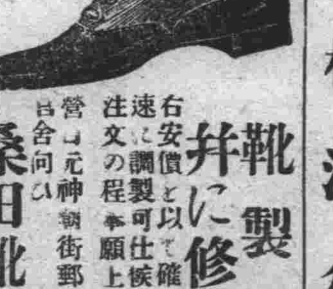
二本町 高坂洋行煉瓦製造部 (電話九一番)

盛海洋行 營口永世街 玻璃 玻璃器 洋燈

硝子、陶器、藥種、雜貨、質商、魚菜ラムチ、檸柑水製造販賣並に清酒金水、龍印特約一手販賣其外洋酒類

特にラムネ及檸柑水は夏季の飲料用として原料を精撰吟味す

遼陽西門外 林洋行



靴製造并に修理

右安價と以て確實御迅速に調製可仕候間御注文の程奉願上候也

營口元神廟街郵便局向 桑田靴店

會席料理 三日月 營口警務課前南江入る

近江病院 永世街二本町

院長 近江周友　副院長 増田八郎

内外科 梅毒 婦人科 眼科 胃腸病 專門

午前宅診 午後往診

入院治療を諾す

但輕便入院法あり來談を乞ふ

支那料理 満月 平野町 (電話一六二)

満月支店 平野町入口 店主 青木勝惠

法學士 辯護士 値賀連

大連大山通二丁目三十一番地

目下當地左の出張所に居住す

營口永世街第三號ノ一 (金城館ノ南隣)

旅館 料理 扶桑館 奉天大西關

今度室内に大修築を加へ名妓數名を雇入併せて球戯場を增設仕候間諸方御客樣倍舊の御來遊を祈上候

梅毒そう毒しつ毒胎毒よこねかんそう其他諸毒又ハのぼせ頭顔頭手足に腫物生し困難なる人一日も早くためし見よ

諸毒下し
毒掃丸
一名 一ヶ月丸

軽症ハ二三週間重きも一ヶ月間ふて全治すべし故に一ヶ月丸の名有り

大日本帝國東京市毒掃丸
山崎帝國堂大藥房製劑
本劑實爲梅毒專治之靈葯故瘡毒、楊梅瘡、胎毒濕毒、淋毒、天梅毒、便毒、疳瘡、及筋骨痛梅毒性咽喉爛及口中紅爛先天及後感梅毒性眼疾頭痛耳鳴等症服本劑其効神速的確恰如操左券凡用本劑者病毒輕者則二禮拜乃至四禮拜全癒重者則百日乃至百五十日除根萬無一慨若無病之人服常本劑能快通大便排泄百毒庶足以徵其効驗也
●定價四日份　三角
●一禮拜份　五角
營口永世街（司法部前）
總經理批發　回天堂三木大藥房（電話百九十番）

廣告
高等麥酒スペシャルライト
スペシャルライトは東洋に於ける外國製麥酒を驅逐せんが爲め特に釀造せるものにして原料精撰風味高尚夏季唯一の好飲料たるは世上已に定評あり
本月一より麥酒取引は一切現金にて御願申上候
六月
釀造元　大日本麥酒株式會社
滿洲一手販賣店　營口元神廟街　關東公司雜貨部（電話五番）
分店　奉天四平街電話十三號　關東洋行

ペンキ塗請負　京阪組
營口豐濟門街三十一號
臨時出張所　鐵嶺正金工場内　新民屯泰東公司内

軍隊用雜貨
日用品雜貨
吳服太物類
化粧品類
陶・器類
食料品類
御小賣
石原商店
營口永世街七十號（第二市場東）
其外新荷着精々安價販賣

醇良日本酒　金露
孔雀印平野水
サッポロビール
大販賣
和洋雜貨　洋酒化粧品　千賀洋行　奉天鐘樓南大路西
酒類　食料品　千賀洋行支店　奉天小西關大街路北

營口
雜貨　洋酒　煙草　卸シ　小賣
大連　南洋　湖北　彩票　販賣
西北街　周　裕和盛
罐詰　紙　化粧品　特ニ　安賣
東清鐵道　遼河　貨物　運送
電話八一

御料理旅館　三河樓支店
弊館は奉天城外十間房第一風景美なる地にありて最も納涼に適す今般業務擴張と同時に宏壯なる日本家風の二棟屋新築し樓上等も暑に應ずる設備致置候間續々御光來被成下度伏して奉願上候以上
樓主　川上總吉

祝開業一週年
弊亭開業一週年の祝意を表し豫て福引御料理差上申居候處不斗も各位の御好に相叶ひ非常の御愛顧を蒙り千萬難有御禮申上候扨て華客様の御勸めに從ひ猶本月十五日まで延致し更に[illegible]節の藝妓を相加へ殊に時節柄料理一層注意仕且つ板場は生粋の江戸庖丁の切口御賞翫下され度續々御來の程伏て願上候

福引會席御料理壹圓
左の十二月に分ち御引出の籤に當りたる月に依て差上可申候
正月（ビール二本　會席五品　藝妓一時間）　二月（御酒一本　會席五品）
三月（ビール一本　會席五品）　四月（敷嶋たばこ一　御酒二本　會席五品）
五月（ビール一本　會席五品）　六月（ビール二本　會席五品　藝妓一時間）
七月（敷島たばこ一　御酒二本　會席五品）　八月（ビール一本　會席五品）
九月（御酒一本　會席五品）　十月（ビール一本　會席五品）
十一月（敷島たばこ一　御酒二本　會席五品）　十二月（藝妓一時間　ビール二本　會席五品）

祝開業一週年　月日　營口豐濟門街　柳亭

開業御披露廣告
遼陽城外西門外街西へ入
和洋御料理　遠山館
今回者様方の御勸により遅れ勝に開業仕候へ共料理と勉強美形と待遇とに決して人後に遅れぬ様にと精々注意可致殊に一棟は西洋料理室の専用に充てコツクも本國新來の腕利を雇入れ候へば美味は受合且輕便を旨とし一皿にても貴需に應ずべく候條陸續御來館の上御試し被下度奉希候以上敬白

御料理旅館　扶桑館
奉天大西關大什字街第五分局千〇六十八号
館主　堀田ハル
電話　号

改名　業務擴張廣告
御料理旅館　遼陽陳家街破水門より東へ入る右側　元吐月改め　東來館
今回元吐月を東來館と改稱致候に就ては萬端を刷新すると共に業務を擴張し精々勉强可仕殊に御料理は輕便を主とし時節柄一層吟味可仕候間陸續御來館の程奉希候

遼陽兵站業務取扱所御指定旅館
遼塔ホテル　遼陽城外喇嘛塔下
遼東館　全城内東街
滿洲ホテル　全城内西上
浩氣館　全城外喇嘛塔側
藝陽亭　全城外西門外通
遼陽館　全上
東洋館　全城内東街
滿洲館　全城内北街
梅廼家　全城外西門外通

廣告
今般同業者一同協議の上自今左記麥酒は總て現金取引に相定め候間左樣御承知願上候也
朝日ビール　糸平公司
スペシャルライト　關東公司
サッポロビール　加藤洋行
朝日ビール　裕和盛
朝日ビール　松茂洋行
惠比須ビール　盛進商行

新荷着
簾　裝飾用品　洋食用品　肉碎器　秤卄六貫以下種々　手提金庫　コッピー用附屬品
窓掛及附屬品　夏帽子各種　戸田式濾水器　宇治新茶　ワイシャツ及カラー　學校用文房具各種　各種復寫簿
關東公司雜貨部（電話五號）

御旅館
旭ホテル
家屋の宏壯と待遇の懇切と料理の精良とは當ホテルの長處
二百人迄の御宴會に差閊なし
場所は牛家屯行輕便鐵道の央
青堆子新市街（電話二三五）

白米、醤油、味噌、木炭、酎、淺草海苔、罐詰、乾物、日用雜貨、漬物類、清酒澤龜特約
東京タクアン　其外和洋酒類
永世街第十八號
大原洋行
（無比廉價販賣す）
（營口西北街）

石材　石灰　大販賣
英洽洋行
（電話三二）

新荷着　札幌ビール
加藤洋行　加藤洋行

內科　外科
牛莊松岡病院
眼科婦人科診療
入院治療を諾す
殊に外科は無痛手術を施し梅毒淋疾痔疾皮膚病耳鼻咽喉諸疾は嶄新根治的療法注射療法或は血清療法を施す
元神廟街第百三十四號
全科醫士　松岡玄雄（電話一五一番）

病室增築輕便入院
是迄病室少く多數の貴需に背くを遺憾とし今回更に增築し輕便と懇切を主とし一層院務を擴張し汎く専門の功果を收とす
○全身魔醉○局處魔醉○嶄新器械○無痛手術○
○梅毒○婦人科○外科○胃腸病○専門
日本醫院

宮門抄

十九日 刑部 都察院 大理寺 廂紅旗值日無引見 桂公假滿請安 王中堂請假十日 吏部呈進秋季搢紳 召見軍機 紹昌 王步瀛遞封奏三件 汪鳳池 吳保齡各遞封奏一件

上諭恭錄

十九日

軍機大臣面奉

諭旨本月二十五 二十六二十八日均着

推班欽此

論說

論中央集權之法

非集權於中央。則政府不能實行興革之事。日以一紙空文之。詔書言變法。言新政。而地方官吏。不肯實力奉行。是終無變法自強之一日也。但集權之道有三。一日集權當從最下之級做起。二日集權必先分權。三日集權當以漸而集。今州縣爲親民之官。無論刑獄裁判錢糧賦稅警察保甲學堂商務。皆由各州縣辦起。州縣者。腿脚也。無腿脚則人不能行也。故必有各州縣之財賦官。然後有一省之財賦官。有一省之財賦官。然後有戶部。有州縣之巡警官。然後有各省之警察使。有各省之警察使。然後有警部其餘各事。莫不與此同。孤立一戶部與警部。則有身而無臂也。由戶部警部。而生各省之財賦使警察使。則有臂矣。而無手無指也。手與指其在州縣之財賦官警察官乎。故曰集權當從最低之級做起也。凡人必能善用其權。然後能保有其權。苟其人無辦理此事之材。則雖與以辦理此事之權。彼亦不能享受。不過敷衍了事而已矣。財賦警察教育裁判等事。皆須有專門之學問者也。一人之身斷不能求備。且即有完備之材。亦一心不能兩用。必不能兼辦數事也。故非將州縣官之職掌。分爲數官。使各治一事不可。否則辦事之才不足。即不能保其權。最下之級無權。則最上之級亦無權矣故曰欲集權必先分權者此也。今全國分爲二十二小國彼疆此界。各顧其私。此習相沿。非一日矣。一旦欲集二十二省之權。而歸於中央政府。此非疆臣之所願也。若不察情形。輕舉妄動。則各省合力起而與政府抗。如此則棘手矣。兵法有言。攻堅則瑕者亦堅。攻瑕則堅者亦瑕。竊以爲宜。於二十二省中。擇疆臣勢力之最弱者。由數省辦起。數省辦妥。然後又及數省。刻下疆臣陞調之權操於政府之手者。尚十之八九。此事由漸而辦。尚可有成。若督撫中之有材者。尤當引入政府。與之共圖中央改革之權。若必妬其權勢。而削之則猜忌起。流毒無窮。恐非國家之福耳。

中外要聞

●端戴兩大臣回京 出洋端戴兩大臣等於十八日由津啓程晋京即赴頤和預備陛見覆命

●俄強佔黑龍江礦產之交涉 據吉林來人云月前黑龍江將軍程雪帥特派劉道赴觀音山等處勘查金礦然俄軍佔據此等礦產托詞阻撓不允劉道接辦故劉道由路中而回將其寔在情形具禀程雪帥磋商對付辦法程雪帥將該金礦所有一切案稿交附劉道飭令其再赴該礦地與俄員據理力爭收回自辦詎俄員不認妄捏造各樣交涉案稿強辯俄國日前已享有礦產是以劉道無奈何徒勞往返未悉將來如何結局云

●籌畫烟濟鐵路 據烟台函云德國自租借青島開爲商埠以來孜孜經營不遺餘力陸則修造膠濟鐵路以便運銷海則往返輪船以便通商欲以該埠爲中國通商之北近來德國政策漸形成效該埠商務逐漸興旺商船麟集百貨輻輳當年漁村荒凉之地今則化爲人文會萃之區矣於是烟台地方大受其影響商務蕭索逐日衰微山東商紳有見于此修濬小清河欲以省垣一帶商貨販運于烟台以挽救商情而抵制德國然小清河漕運之利不可與膠濟鐵路同日論斷難回復烟台舊日之商况當是之時補救之法惟在築造烟台抵濟南鐵路與小清河漕運之利相依相助以抵制膠濟鐵路耳乃該埠商紳集議擬籌集股本百萬元開築此項路綫並欲用輪船往返烟台到大連航路以挽救商務但籌欵維艱未有眉目刻正在悉心籌商之際或不久而可見實效耳

●宜防海盜猖獗 聞自英輪被刼以來粵督特派兵船常川來西江彈壓海盜刻已形平靖然尙恐海盜乘間出刼故一面派兵保護船舶一面密派偵探在各處暗訪莠民以安商旅云

又聞前有北洋水師靑海號駛過山東沿海廟島附近偶見有民船數艘過前因其舉動可疑用信號飭令停船詎料該民船等不但不停船反用砲抵敵而靑海兵輪亦開砲應戰擊沉其一艘生擒數名可惜時際黃昏該民船乘暗遠竄該兵輪即將其水手解送于烟台嚴究始知係盜船刻正由北洋大臣派輪勦辦奉省沿海魚介素富沿海居民皆以捕魚營生然該一帶海盜出沒刼掠漁船人心爲之驚惶漁利大減雖前屢由趙次帥派兵勦辦然未致平靖近來兇燄益長而保護之法未盡妥善漁利漸有減色故趙次帥刻已派輪彈壓並設法保護漁船云

●採打箭爐銀礦之擴張 聞四川打箭爐廳附近銀礦自鹿大軍機督川時即奏明開採由官撥欵派員辦理迄今未收大效亦無賠累之虞故現任錫良咨商部聲稱英法礦師迭經晒勘聲稱該礦苗旺惟因土法開採難獲厚利現擬添籌資本購新式機器開挖以濬利源而重礦政

●請獎蒙王報效戰馬 庫倫辦事大臣延大臣奏稱車臣漢部蒙王報效練兵戰馬實屬誠悃可嘉請 旨獎勵一摺聞已奉 旨交理藩院矣

●駁設買賣牲畜公司 日前黑龍江紳商呈商部請在呼倫貝爾城設立買賣牲畜公司當經商部批示俟咨查黑龍江將軍覆到再行核辦茲聞黑龍江署任將軍程德全咨稱該商請設牲畜公司擬壟斷利權業經在黑龍江批駁現又有勾結俄商運動之說究之買賣牲畜斷難由一人壟斷即請由大部駁拒著不准行云云

●電告勦匪 平靖贛撫吳中丞日前電告政府略云新昌會匪勾結義甯州會匪同湖平江湖北通城會匪藉搶米爲名滋亂一事刻下會同鄂軍協辦擒獲二三十名擊斃四五十名餘匪星散現已一律平靖以抒宸念

●奉天創立漁業公司 奉天趙將軍自得商部請興漁業咨文即派委專員前往蓋平海城等處設法籌辦又以入手之始保護爲先知三四月間蓋平之鮁魚圈地方向有黃花魚汎當即於此地派兵保護並令漁戶聯絡一氣發給旗幟編入號籍凡屬漁業均一律註册作爲公司分股現已將籌辦奉省漁業公司情形出奏並咨請商部查照

●新甯鐵路改定路線 新甯鐵路之路線本擬由公益埠迤西經過大江墟直達水涉墟後因該處沿海俱是石底不能打樁築堤兼有數處橋梁工大費鉅因變計改由公益埠東邊直過上冲經伍村李村等處逕達大江墟已於閏四月初一日由公益埠起手測量開工興築聞日下已打八華里之長云

●飭增折漕價值 聞日前戶部咨照浙江巡撫略云前據咨稱三十一年浙省米價甚賤應俯折漕銀兩每石仍折二兩等語查值此庫欵奇絀之時折漕銀兩關繫緊要務請轉飭該司道等即將三十一年分應折漕糧查照近年成案酌量加增奏明辦理以重正供而昭核實

●彈壓六安民亂 皖省六安州飢民滋生風潮勢形岾危該州據情稟請撫恩中丞已派兵前往彈壓

●浦江民亂 浙省浦江縣有土民千餘名結隊各持軍械擁集於官署一時頗形滋擾

●蒙王啓程回旗 內蒙東部敖罕多羅郡王當差事竣呈由理藩院代奏回牧已奉旨允准該蒙王現整備行裝擬於日內即行啓程回旗矣

●議派學堂總監督 聞學部各堂憲現已議擬奏派新授本部右侍郞達君充爲八旗學堂總監督以期大加整頓裨助學務

●日飭關東都督勦匪 日本政府飭關東都督云日本已向列國聲明所有商埠一併開放並允認於互市通商時如有胡匪對於外人戕害性命搶掠財產於我威嚴關係非淺未免曠職願從速勦捕該匪彈壓地面以期肅清

●定癈兵院法 日本癈兵院法當俟九月一日施行

●俄派駐韓領事 日本政府已經允准俄國派普蘭遜充爲駐韓總領事因俄國允認日本有保護國之權並代辦其一切外交事宜想於日內普君即前往履任也

●日本撈起三笠艦 海軍省公報云曩於佐世保軍港沈沒之戰鬪艦三笠號撈起工程頗費苦心刻已撈起

●俄藩之勤王 俄藩斯窩夫親王及喀基哥夫君等慨然仗義與俄皇誓以肅清地面克復和平即爲已任

●俄政府之私意見 俄政府私聲明云回復秩序力圖改革一事須詳細籌劃並用威力以便施行

●俄反對虛無黨 俄國所有士商等對於虛無党員等所爲均形反對正在力圖肅清

●義艦觸礁情況 義國輪船西里窩號觸礁覆沒一事所有搭客一時爭赴小艇擁擠先渡竟至持小刀相向因之淹斃者約及三百名云

又聞該號船長並無恙已行登岸據云該輪船所觸之暗礁現海圖中尙未錄及故致此失云按昨報登錄船長自斃一事係屬謠傳

●英拍賣擱淺戰艦 英國海部將擱淺戰鬪艦孟達克號決意拍賣

雜報

●少婦縱淫 昨有投匿名函於本報者欵署桃園隱士蓋先生不如許人也然據桃園二字定爲本埠之人無疑其函內所稱通惠門內有王朝儀者娶妻張氏乳名小折年十七齡貌頗姬麗而生性好淫不事正業日與陳從厚私通以致醜聲播於鄉里王朝儀身執賤役在某飯館跑堂終日不能歸家其妻得隙任意宣淫陳姓日至其家三四次鄰里共見每日至早王朝儀亦須十點鐘後歸家就寢極一日之便其妻何事不可爲且云凡有中意張氏之人無不由意歡迎不圖錢財只恣情慾此等污穢之事必其鄰里見聞有據始憤憤不平投函以彰其醜耳抑或挾有私嫌侈口牘謗耶本報有聞則錄他非所知也

●出妻更正 前報載本埠西街居民徐泰爲溺情外交欲與劉婦偕老因與他人謀除其妻晉升汽車遠送於外他人皆不識其妻氏存亡多有爲之太息者等情詎昨有徐之中表原某聞乃躬至徐家目見該妻趙氏現居室內與徐偕好如常不識該氏由劉婦轉適孫姓後徐復從遠處將該氏接回耶抑從未出庭戶被怨家捏造流言誣謗耶據聞原某所云詢其比鄰亦有云該氏從未出門之語然徐被此誣謗或因於劉婦處多與蕩子挾食楊梅之嫌以此結怨特造流言以陷徐於不義耶總之徐本匪類素行不端此等行爲亦爲徐所能作到言雖誤而不誣也右徐泰者蓋抑小人無恥之流亞歟

●殺場演說 有茂才蔣生者係直隸省保定府某邑原籍該生素即熱心愛羣每欲同胞固結團體但願人人共具忠君愛國之衷不患無富強之期望也故專務維新諸學因出外博遊到處宣講去秋至奉省拜謁總理學務處錢少雲觀察傾吐衷懷頗蒙錢公獎許即留省垣教習官話字母等學殊爲稱職奈其志在廣化烝民多欲於郡邑鄉村設立學堂謀教育之普及連次宣講迄無成效今復決絕辭職又向南游前日來埠正值衙署於埠外叢塚之地刑決海賊二名同係張姓觀望者萬有餘衆蔣生亦在焉既刑二犯噴血當前多有慘不忍視之人而將生獨立塚巔藉爲宣講云我中國同胞四百兆餘較諸列邦亦屬大國胡爲多爲外人奴隸之犬馬之甚則生之殺之亦多權由外人其辱孰有甚於此者然皆我中國人自取耳蓋昔不知效法外人精勵身業多習放蕩浪游迨無計謀生則流爲賊盜今遭誅戮律所當然然余惟願在場諸君要審思之但能效法外人振刷精神勵精務業即不能上報朝廷亦可養全身命豈若此二囚身首異處於叢塚間乎願我同胞全行振作人人奮發自新統師於人固結團體倘若衆志咸貞同爲保粹保種何患國家不興盛不富強乎且何致身罹法網猶煩友邦官府代爲明正典型乎聚觀之人有如堵牆屛息傾聽多有爲其感動者演說至一小時之久約萬餘言愈演說愈形激烈幾致舌放唇焦乃止有一譜中語之日人聞而悅之特爲之致敬送茶云

●賢婦芳踪 又聞友人云距黃縣城北十五里之地方有澗村村中戶口四百餘家有一張姓當年十八歲前聘同村趙姓之女爲婚過門已四五年矣孝順翁姑尊敬丈夫賢淑可嘉於二月間張姓新得癆症醫之無效趙女衣不解帶晝夜扶持七月有餘始終不怠張姓忽於本月身故趙女亦不哭泣安排葬事擇行三日安葬晚間吞食洋烟臥於棺傍而斃如此賢婦誠不可得故錄其事以維風化而正澆俗云云

●盜搶銀子窩詳誌 又聞友人云皮子窩於本月初間有鬍匪千百餘名晚間一點鐘忽然入街搶去官銀拒傷日兵猖獗已極聞當時遍叫各舖戶之門衆人驚懼不知所措無一人敢出首開門者蓋恐禍生不測耳因此致觸賊怒各處放火燄光冲天大小舖戶互相救護衆盜得隙一湧而入將舖戶之錢財搶掠一空臨去復又將各舖戶之夥友綁去十餘人刻尙未知能否釋回云

●雁過拔毛 昨聞諸舟子云有販蓋州賣靑菜之馬姓者於前大由蓋州滿裝靑菜一船來營出售駛至口外偶遇水賊三人將船攔住遍搜船內並無錢財賊炙手執擬鎗忽發一彈倘幸未中馬身馬姓泣涕哀陳並無錢財求饒性命等語向艙內搜出白面一袋始携之過船而去

麥粉 太米 二、八 二、一 二、二 二〇四

三鬼 馬狗 艶馬 眞龍相連 四、〇〇五 四、〇〇八

照日山 水雷山 紀國山 八幡山 小松山 若碇 綠松 大江瀉 手柄山 鶴ケ森 鶴ケ嶽 鷲ケ濱 鳴戶岩 猪王山 小松山 照日山 八幡山 白藤 甲州山 照日山 友碇 鳴戶岩 松ケ枝 手柄山 大江山 小松山

淡谷木局 街西一四一（森病院三軒目）

最高溫度八十一度八 最低溫度六十三度一 昨年より 低七度二 高八度二

營口旅館料理店案內
いろは順

旅館 料理 第一樓 元神廟街九十六號 （營口ホテル）

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

料理 一力 營口永世街 店主 堀万助

旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六 店主 村上京四郎

旅館 東京樓 營口新市場前（電話一七六番 四番） 店主 熊田粂次郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號正金銀行西三丁程

料理 千鳥 元神廟街百三十三號 店主 吉住善藏

料理 沖の嶋 永世街百六十四號 店主 中川彌三郎

料理 並に氷いろ〳〵 翁亭 營口元神廟街 店主 長谷川金次郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館 高砂ホテル 西北街（電話一四五番） 店主 引山小みつ

料理 樂々亭 營口元神廟街 店主 武部貞

旅館 大和館 永世街三十四號（電話十一番） 店主 前田九一郎

料理 萬梅 豊濟門外第百〇四番 店主 島田彌助

料理 まんなをし 永世街字二本町 店主 和田常松

和洋料理 公樂園 南永世街

料理 喜樂亭 營口平野町

料理 都樓 平野町 店主 阪本ちか

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

旅館 品川館 營口永世街一六號

和洋料理 松月亭 營口元神廟街一一三四 店主 末松信太郎

料理 旅館 醉花園 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

奉天旅館料理屋案內

商人御定宿 瑞豐館 奉天小西關大街北側 館主 河野嘉吉（電話□）

會席御料理 高等御旅館 天神樓 奉天小西關大什字南街へ入 溫泉付大勉強キレーデチイシヒ（電話□）

旅館料理店 日章館 奉天小西關大街路北（電話□）

奉天兵站部指定 旅館 茂林館 奉天小西門外大街路北（電話二十五番）

御旅館 瀋陽館 奉天小西門外大街路北

御定宿 第一東京館 奉天小西關第五分局八一〇 館主 松田平四郎
今回弊館組織に大改良を加へ清潔閑靜を主として旅館業に單ら御客樣の御便利を計り內湯新調仕候間御來宿の程奉願上候

御旅館 御料理 梅松館 奉天城內灰市街東華門宮殿東側 館主 押尾富次郎（電話號）
今回弊館座敷增築の上清潔廉價を旨とし川魚鰌井鯰蒲燒き等も新調且つ仕出等致し御中食には至極御便利に御取り計ひ可仕候多少に不係御用命の程偏に奉願候

和洋高等御料理 遼陽城內東街一八九號 遼東館 電話 號

諸鐵工製作
鑛山船舶機械鐵工
輕便鐵道附屬鐵工
土木建築用鐵材料
其外鑄物諸般
（營口綏定門街 ブツシ商會東）
喜川鐵工所

和洋會席 御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉強仕候
營口永世街二本町 日本館（電話百三十）
各位樣

料理店旅館擴張廣告

四方各位益々御清榮奉賀候陳者弊店儀嚢に滿洲樞要の都府に當る當奉天小西門外什字街に料理店旅館開業仕候大方紳士紳商諸彦の御引立を蒙り日に增し盛大を來たし從つて家屋手狹まを感じ候に付今般一層業務を擴張し更に本店を當府小西關新來當街に設け以て專門の料理店となし日本式ナ宴會（百人迄の設備有之候並）に歌舞演藝に適する樣大廣間落成致し候に付き此際本支店共奮つて一大改良を施こし親切叮嚀に御牛と清潔とを主とし精々勉強廉價に相務め可申候間倍舊之御愛顧御引立の程伏而奉冀上候 敬白

追而料理店旅館の位置は奉天小西門より約二丁西方に當り市街輕便鐵道を中心として旅館は西方へ約一丁餘料理店は北方へ約三丁有之候間御來駕之節は路上の目標に御注目被成下度特に願上候

奉天小西關新來當街々 御料理 本店 金城館（電話十九）
奉天小西門街大什字街 御旅館 金城ホテル（電話一〇）
營口永世街 御料理 支店 金城館（電話八三）
營口永世街 御旅館 支店 金城ホテル
大連市吉野町 御料理 支店 金城館
大連市吉野町 御旅館 支店 金城館

遼陽城內西街
御料理 盛進館
雜貨 井川商會
店主 北ツネ

御旅館 和洋御料理 奉天軍政署指定旅館 奉天館（電話十四番） 奉天城內鐘樓南大街

日清俱樂部（電話十五番） 奉天城內大南門裡大街
麵麭製造 西洋洗濯 靴製造 日本大工 理髮 裁縫

氷御小賣所

土木建築並ニ測量設計請負
營口青堆子綏定門外 志岐組

○板材木 ○蚊張
○金物類 ○金庫
○疊建具 ○花莚
○椅子テーブル ○ペンキ
○洋燈類 ○文具
○鰹節雜魚 ○紙類
○酢醬油 ○罐詰
○其他雜貨色々
新荷着大安賣

㊂ 營口西北街 石光洋行
遼陽西門外 石光洋行支店

㊒
雜貨卸小賣 主任 海南右門
土木建築請負 遼陽城內西街
煉瓦製造販賣 有馬組遼陽出張所

滿韓境上唯一樂園
五龍背温泉
安奉鐵道安東縣驛ヨリ五龍背驛迄一時間半
溫泉場ハ五龍背驛ヨリ僅カ一丁
眺望絕佳今ヤ新綠滴タルノ下清流掬スベキノ仙境タリ
當溫泉ハ元陸軍療養所ニシテ今回公衆ノタメニ開放セラレシモノナリ
効能ハ脚氣、痔疾、刀瘡、神經病、胃病、子宮病、僂麻質斯、黴毒、癩病等ニ特効アリ

西洋料理
弊ホテル義は歐洲風の旅館にして玉臺ピヤノ及び應接室の設備有之御宴會集會多人數の御立食仕出しにも應じ尚御來客の朝食午晚に區別仕り候外一二品の御好みにも應し篤實に調進仕候間陸續御來臨の程奉希上候
進物用に適す料理切手發賣仕り五枚以上御買求被下候は丶割引仕候
牛莊ホテル（遼河々岸）

遼陽州官設醫院告條
一凡請診治到院掛號須在上午自八點鐘起至十一點鐘止藥資例取[illegible]銀隨意
一若有願獨免藥資者須在下午到院掛號自一點鐘起至三點鐘止
一特邀醫官於其家者另繳規資一元以上但在下午三點鐘以後
一欲求診斷證明諸單及處方箋另付規費
一每逢慶節及禮拜日一概休掛

自造煉瓦●瓦並に各種石材販賣
營口青堆子 加州組（電話八十六番）

●銃砲火藥販賣業
本行蒙官允准專賣各種洋鎗洋炮以及火藥鎗彈等件物美價廉需整發售如蒙中外紳商賜顧者請到本行面議可也
官許商 秀清洋行 鐵嶺東門大街

齒科治療廣告
啓者本醫士現將已前之療室從新改築寬敞幽雅俾期與治患之人一般便利而且應症活治療安善有齒牙之患者幸早惠臨試驗方知本醫士之言不謬也
齒科醫士 德平盛剛 遼陽西街六十九號

丸重轉運行
啓者本行前經關東總督之特准開辦東清鐵道轉運行專代各裝運貨物安全速達價亦格外公道以致名聲日增今又各車站設均分莊運輸決無誤如蒙貴商光顧請面是議荷
營口西北街（電話八十號）
既設分局 遼陽、奉天、牛家屯車站（電話四十六號） 昌圖各車站

關東玻璃公司
本公司自造各項玻璃器物貨色精工市價從廉光顧者請至 營口永世街
第五號門牌便是

志岐組木料棧 材料出售
啓者本棧開設鎭口永安街專售鴨渾兩江之各種木料品質精良價值格外從廉克已凡中外士商光面議顧請到本棧

上海 中井洋行 專運日本各式紙料
本行開設已歷多年曾與日本製造名廠計有專銷之約凡新聞紙料印書籍各式紙料荘票包棉紗料草板紙張日本機器連史紙五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也
中井洋行

恵比壽ビール YEBISU TRADE MARK 登録商標 DAI NIPPON BREWERY CO. LTD. TOKYO JAPAN 大日本麥酒株式會社
金井洋行
盛進商行

一杉丸太長一丈より五間迄末口一寸以上八寸迄各種
一杉樅栂松板類各種
一入小押角挽角小割各種
右廉價販賣
營口永世街 喜久洋行（電話一五二）

軍隊用雜貨
日用品雜貨
食料品種々
舶來品類
其外新荷着舶來品精々大勉強販賣
遼陽西門外筋 北原洋行

土木建築用諸木料
板硝子類
マルソイド便利瓦
九州セメント
オールドスコッチウ井スキー
廉價販賣
營口青堆子綏定門外 志岐組 商業部

東清鐵道